

総合特別区域の進捗に係る評価
[グリーン・イノベーション分野]

令和元年度

柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4.8+4.4)/2=4.6$

4.6

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	各主体の参画による活動の活性化	122%	5
2	新ビジネス創造と地域経済の活性化	102%	5
3	AEMSを活用した環境配慮型都市の確立	250%	5
4	先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築	77%	4
5	虚弱予防活動の展開	111%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 4 + 4 \times 1 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 5 = 4.8$

4.8

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 評価指標4は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.4

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(3.8+3.3+3.3)/3=3.5$

3.5

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.8

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.3

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.3

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.5

・評価指標の数値目標の多くが達成されており、「公民学連携による自律した都市づくり」のモデルとして着実に進捗している。

・「都市経営」、「地域エネルギー」、「地域の健康・福祉」の3軸それぞれの評価指標の対象となる主体は異なると考えられるが、例えば新ビジネス創造とエネルギー、まちのプロジェクトとエネルギー、エネルギーとウェルネスなど、軸間で連携するような取組の視点をさらに進めることで、都市経営の高度化に活かす、具体的なデータ活用の実践に期待。

・グリーンイノベーションに関しては、エネルギー管理の詳細な実態がわからない上、既存のシステムによる特段の追加的取組のないままに成果の数値だけが報告されている。

・UDCK(柏の葉アーバンデザインセンター)を中核とするまちづくりプロジェクトや、ベンチャー企業の支援、フレイル予防等、目標を上回る水準で成果を上げているが、トータルケアシステム、地域エネルギーのデマンド制御等のロードマップとそれについての評価指標の検討を期待。

・数値目標(4)－②の実績値が減少している理由として事業所の撤退が挙げられているが、その理由についてより具体的に要因分析を行う必要があるのではないか。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.5

総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(4.6+3.5+3.5 \times 2) \div 4 = 3.8$

3.8

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。